

2025 年 11 月 17 日（月）、本学において、株式会社高知銀行代表取締役頭取・河合祐子氏を講師にお迎えし、「世界はどのように変化しているのか その中でどうやってウェルビーイング経営を実現するか—高知で Face To Face を実践する高知銀行の例」と題した講演会を開催しました。

当日は、「しあわせ研究入門」を履修する学生・教職員を中心に約 220 名にご参加いただき、会場は終始、活発で温かな雰囲気になりました。

講演では、冒頭に河合頭取が世界 50 か国以上を見聞してきた経験や自身が仕事や生活で感じたウェルビーイングについてお話しいただきました。続いて、世界情勢や経済環境が目まぐるしく変化する中で、地域の金融機関が果たすべき役割や、高知銀行が掲げる「Face to Face」の理念がウェルビーイング経営へとどのように結びつくのかについて、数多くの具体例を交えながらご紹介いただきました。また、働き方の多様化やテクノロジーの進展が加速する現代において、「デザイン思考」「顧客起点のマーケットイン」「従業員と顧客のウェルビーイング」「リアル・デジタルの Face to Face」の重要性、組織や個人が大切にすべき「軸」のあり方についても深い示唆をいただきました。

今回の講演は、最前線で活躍するリーダーの「生の声」に触れる貴重な機会となり、学生の視野を大きく広げるものとなりました。質疑応答では学生からも積極的な質問が寄せられ、河合頭取はそれぞれの問いに丁寧に答えてくださり、会場全体が学びの熱気に包まれました。

ご講演いただいた河合祐子頭取に心より御礼申し上げます。また、ご参加いただきました皆さまに深く感謝申し上げます。本学では今後も、地域と連携し、学生が多様な価値観や実践知に触れられる学びの場を積極的に提供してまいります。

（男女共同参画推進室 廣瀬淳一）

事前申込不要

参加
無料！

世界はどのように 変化しているのか

その中でどうやって ウェルビーイング経営を 実現するか

高知でFaceToFace を実践する高知銀行の例

令和7年 11月 17日 月

急速に変化する社会や働き方の中で、
企業が顧客や従業員のウェルビーイングを
どう実現するかが問われています。

本講演では、高知ならではのFace to
Faceによる高知銀行の実践例を紹介します。

時間 14:50 — 16:20

会場 高知大学 朝倉キャンパス
共通教育棟 222番教室

対象 高知大学学生・教職員

かわい ゆうこ

講師

河合 祐子 氏

(高知銀行 代表取締役頭取)

1987年 ケミカル銀行/J Pモルガン銀行グループ入行
2001年 R Pテック株式会社入社
2003年 日本銀行入行
2020年 Japan Digital Design 株式会社入社
2023年 株式会社高知銀行代表取締役副頭取
2025年 株式会社高知銀行代表取締役頭取



お問い合わせはこちら



高知大学

男女共同参画推進室 **しあわせぶんとん**



088-888-8022



sankaku@kochi-u.ac.jp